

第1回 これからの清瀬の図書館を創造する会 会議録

令和5年6月23日（水）午後1時30分から午後3時

中央図書館 会議室

No.	委員名	要 旨
【開会】		
	事務局	開会のあいさつ
【委員紹介】		
		各委員による自己紹介を行う
【会長及び副会長選出】		
		互選により会長を、会長からの指名により副会長を選出した。
【議事】		
1	会長	それでは資料説明を事務局からしていただきたい。
2	事務局	（資料説明）
3	会長	図書館について、今後どのように運用していけば良いかを議論していきたい。漸減している近年の利用者数について、どのようにすれば市民全ての方々が市立図書館を有意義に利用できるか、従来どおりの体制で良いかまで踏み込んだ議論を行っていただきたい。
4	委員	今後の市民の利用者数について、具体的な目標値等は設定されているのか。
5	事務局	具体的な目標数値については設定していない。
6	事務局	直近の利用実績としては、全市民のおよそ14%程度である。
7	委員	今後利用者数を増やしたいとのことだが、そもそもなぜ利用者数を増やしたいのか、理由がわからない。 図書館の果たすべき役割に即した運用が今後されるかや、清瀬市全体のまちづくりに対してあるべき図書館像を論点にすべきではないか。
8	事務局	利用実態を図る上で、貸出数がわかりやすい指標ではあるが、それだけを目的にしているわけではない。 市民からの調べ物の依頼（レファレンス）に対応することについても図書館の重要な業務であると捉えているが、まずは市民に利用していただかないとその他のサービスも提供できないため、利用者数の増加を目標とさせていただいた。

No.	委員名	要 旨
9	副会長	清瀬市はかつて、公立学校給食・公立図書館を近隣市に先駆けてその充実に取り組んできた実績がある。中でも図書館については、市民の読書に対するニーズに応え、また子供に本に触れられる場としての目的があり、生活向上に寄与してきたが、現在はSNSなどのネットサービスにより大多数のニーズが満たされてしまっており、図書館の存在意義が薄れてしまっていると考ええる。 これは清瀬市だけの傾向ではないと考えるが、他市の利用者数の推移について、データはあるか。
10	事務局	他市の利用実績について調査し、次回にて報告する。
11	副会長	利用者数の推移に併せ、他市の図書館への取り組みについても確認されたい。
12	委員	清瀬市のスローガンがあるが、その中で図書館が担う役割について、具体的な資料等はあるのか。
13	会長	催し物の開催による市民の参加意識向上、また学生の勉強の場所として利用されており、貸出によらない利用もされている。
14	委員	提示された資料に「年代別・住所別利用率」と「貸出者数の推移」があるが、利用率について、どの点からを「利用した」としているのか。
15	事務局	この表（「【資料3】清瀬市立図書館の概略について」4～8ページ）では貸出した場合のみを「利用」と定義しており、来館者数はカウントしていない。
16	委員	今後の図書館利用について、利用者数を増やすのではなく貸出数を増やすことが目標と考えて相違ないか。 学生として図書館を利用しているが、自習スペースとしての利用が主で、貸出はほとんどしていなかった。また、利用世代は学生と高齢者が多く、いずれもほとんど貸出はしていなかったように思う。 貸出数を増やす目標は、図書館の実際の利用者のニーズとズレてしまっていると考ええる。そもそも貸出数を増やすとした場合、清瀬市の人口増を前提としなければならず、目標の達成は難しいのではないか。
17	事務局	以前、公共施設の利用者に対しインタビューしたことがあり、学生から学習用のフリースペースを用意して欲しいという要望があることは市も把握している。市民から求められる機能を、図書館含め公共施設全体で考える必要があると感じた。
18	委員	利用率について、月別や時間帯別の利用状況は把握しているか。 例えば8月下旬は小学生の宿題で利用が多い等の傾向が見られるか。

No.	委員名	要 旨
19	事務局	夜間の利用（貸出実態）については統計を取っているのでは、次回提示したい。
20	委員	貸出に紐付けることにより利用世代や性別を把握できるが、フリースペースの利用については同じような精度で利用者を分類することはできない。また、フリースペースの使用率についても現状では把握する術がない。
21	委員	正確な来館者数が把握できないのであれば、アンケート等による満足度などを指標にしても良いのではないか。
22	委員	交流会などの催し物を図書館で行っているとの話があったが、実際どのような内容か、またそれぞれの参加人数について提示できる資料はあるか。
23	事務局	令和2・3年度はコロナにより縮小となったため、令和元年度の読書交流会(6月・8月・11月)の実績を説明する。
24	会長	読書交流会や子供会以外に、2年前から市内の各小中学校が図書館の活用を前提とした「調べる学習コンクール」に参加している。
25	事務局	「清瀬市第4次長期総合計画基本構想（施策122生涯学習活動の支援）」を資料として追加配布
26	事務局	清瀬市では、「長期総合計画」の中に、各施策の目指す姿や取組みの方向性を示している。図書館については、配布した資料の通りである。また、教育分野の個別計画となる「教育総合計画マスタープラン」の中でも示している。
27	会長	委員の方々にお尋ねしたいが、他市の図書館や大学図書館等を利用された上で、清瀬市にも参考になるような事例があれば是非お聞きしたい。
28	委員	大学図書館では、国家試験の勉強等の学習意欲が高い学生に向けた施設となっているため、公共図書館にはそぐわないと考える。

No.	委員名	要 旨
29	委員	他市の図書館で面白いと思った事例で、本の見せ方に工夫があった点である。例えば、漠然と棚に並んでいるだけではなく、箱を用意してその上に本を置き、ショーウィンドウのような展示をされていてちょっと手に取りたくなるような仕掛けがしてあった。 最近、石川県立図書館に足を運ぶ機会があり、図書館自体の豪華さもさることながら、例えば園芸コーナーには花が展示されていたり、人形がディスプレイされていたりと、本以外のものも積極的に置いてあることにより、興味を引く仕組みが実現されていた。また、この図書館では椅子と机がとても大事だと感じた。わざと様々な種類の椅子・机が用意されており「今日はどの椅子に座って読書をしようか」といった読書以外の楽しみも提供されていた。 近隣だと東久留米市の図書館では、地域のカフェのオーナーが選書したコーナーがあり、こちらも非常に興味を掻き立てる工夫がされていた。
30	会長	この事例は、展示方法の工夫について非常に参考になる。と言っても、職員のみで行うのは、作業量の増加やスキルミスマッチも発生しがちなもので、市民の方と協力して実現できればと考える。
31	事務局	図書館職員の司書資格者の人数も年々減少してきている、市民の方との協力と併せ、職員のスキルアップも行っていきたい。
32	委員	職員の採用に際して、有資格者であることを採用条件とはしていないのか。
33	事務局	職員は、幅広い行政課題に対応することが必要であり、正規職員として司書職のみの募集は近年行っていない。
34	委員	職員の一定のスキル保持・専門家育成のため、指定管理や民間委託をせざるを得なくなるのではないのか。
35	事務局	確かに、清瀬市では、一定の分野に対して民間に委託できるところは任せ、職員があたらなくてならない分野にしっかりフォーカスして職員を配置する方針としている。
36	委員	「図書館を創造する～」から外れてしまうかもしれないが、図書館数を減らす考えはないのか。 清瀬市の面積・人口に対し図書館数が多いと感じる。図書館設立当初は意義があったのかもしれないが、書籍離れが進んだ現在、そもそも現在の利用者数を維持・拡大する目標を立てることにどんな意味があるのか。

No.	委員名	要 旨
37	事務局	今現在は具体的な図書館のあるべき数について考え方を示していないが、清瀬市では公共施設全体の再編計画を進めており、それに則った形で再編されていくものとする。計画では、学校を地域レベルの公共施設の核として位置づけ、学校に図書館やコミュニティ施設の機能を統合していくことも検討している。ただし、今すぐにできる状況ではないとも考えている。いずれにしても、公共施設を今後ダウンサイジングしていくことは大きな方向性として認識している。
38	委員	少子化・人口減により公共施設の再編・減少が進み、統合していくことは理解したが、シンプルに図書館を運営しないという考えはないのか。
39	会長	今現在ではその計画はないと思われるが、そういったご意見をいただいたので、今後その視点についても加味した上で図書館運営を提言していきたいと思う。
40	委員	南口に新しく建設される複合施設に、中央図書館の本を全部移転するという認識で相違ないか。
41	事務局	複合施設のため、そのまま移転は難しい。一定の本は移転するが、入りきらないものはその他の図書館に分散所蔵する。
42	委員	この会において、最終的なゴールが何なのか、次回までにもう少し具体的に提示いただきたい。
43	委員	図書館の運営は全て市の職員が携わっているとのことだが、将来的に民間委託も考えているのか。今までの議論を伺うまでは、既に民間に委託済みだと考えていた。 図書館に情熱を持った方が運営する体制にすることが重要ではないか。清瀬の良さを保ちつつ苦手な部分のみ、一部を委託する形も良いのではないか。
44	事務局	民間のノウハウを活用した可能性も含め検討していく。
45	副会長	南口複合施設の図書館についてもできるところは情報を出してほしい。
46	会長	情報の提供が不十分だったところもあるのでそれは次回にお願いしたい。
47	事務局	次回、9月中を予定している。
48	会長	これで閉会する。